

記入例

※整理番号
 ※受付年月日 令和 . .

監護相当・生計費の負担についての確認書

この確認書は、「高校生年代までの児童」と「大学生年代の子」の合計人数が、3名以上になる場合のみ提出が必要です。2名以下となる場合は、この確認書は不要です。
 ※大学生年代の子(22歳に達する日以後の最初の3月31日まで)についてのみ記入してください。

話及び必要な保護をし、かつ、その生計費を負担していること（以下「監護相当・生計費の負担」）
 します。
 までの間にある者のうち、施設等に入所等している者でないもの

【監護相当】
 父母等が子の監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護を行います。

【生計費の負担】
 父母等が子の生活するための食費や住居費、光熱水費等を営んでおり、かつ、これを欠くことで子の生活が維持することができない場合を行います。

令和8年4月1日以降の情報を記入してください。

記

1	ふりがな 氏名 いさ いちろう 伊佐 一郎	生年月日 平成 令和	○年 5月 5日	子の住民登録がある住所 〇〇県〇〇市〇〇番地	住所
	個人番号	続柄 子	職業等（いずれかに○）※ 学生 ・ 無職 ・ その他	通学先（学生の場合のみ） 〇〇大学	卒業予定時期（学生の場合のみ） 令和 ○年 3月
	1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1				申立人による監護相当の状況（いずれかに○） 1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）
2	ふりがな 氏名	生年月日 平成 令和	年 月 日	子の住民登録がある住所	住所
	個人番号	続柄	職業等（いずれかに○）※ 学生 ・ 無職 ・ その他	通学先（学生の場合のみ）	卒業予定時期（学生の場合のみ） 令和 年 月
					申立人による監護相当の状況（いずれかに○） 1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）
3	ふりがな 氏名	生年月日 平成 令和	年 月 日	子の住民登録がある住所	住所
	個人番号	続柄	職業等（いずれかに○）※ 学生 ・ 無職 ・ その他	通学先（学生の場合のみ）	卒業予定時期（学生の場合のみ） 令和 年 月
					申立人による監護相当の状況（いずれかに○） 1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）

学生がアルバイト等をしている場合は、学生に○をつけてください。
 就業している場合は、その他に○をつけてください。
 ただし、子が就職等により、独立し生計を営む場合は、対象外となります。

提出時点での卒業予定時期を記入してください。

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

認定請求書の請求者又は額改定認定請求書の受給者の住所・氏名を記入してください。

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)
 住所 **伊佐市大口里** 番地
 氏名 **伊佐 太郎**

令和 ● 年 ● 月 ● 日 (記入日)

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。